



高田

真宗高田派本山 専修寺

本山だより

令和6年 冬号

140



高田本山 HP

令和6年冬号（第140号）/発行・令和6年12月1日/〒514-0114 三重県津市一身田町2819番地 TEL 059-232-4171 www.senjuji.or.jp

“世のなか安穏なれ 仏法ひろまれ”  
の願いをこめた900個の風船が、  
園児たちの手で秋空高く放たれま  
した。

風船は伊勢湾を越え、そのひとつ  
が、愛知県岡崎市の田んぼに到着。  
お米作りをしている方から、園児  
たちにうれしい便りが届きました。

（8面に紹介）



# 慚愧と歡喜のうち



「慚愧ざんぎには歡喜かんぎのよろこびあり  
歡喜には慚愧のあやまりあり

これが才市がよろこび  
これが才市がよろこび

と妙好人の浅原才市さんは残して  
くださいました。お念仏の度に  
慚愧と歡喜を味合わせていただく  
ことがどれ程ありがたいことであ  
り、また難しいことでしょうか。

阿弥陀様の前では自然と手が合  
わさり、口から南無阿弥陀仏のお  
念仏、そして頭が下がるのは真宗  
門徒として当然のことかもしれま  
せん。しかし、それら一連の行動  
に「煩惱の自覚と阿弥陀様への信  
頼」が抜け落ちてしまうと単純なルー  
チンワークになってしまうのです。

同じように食事の前後の「いた  
だきます、ごちそうさま」と言う  
行為も大切なのにルーチンワーク

にしてしまっているのではないで  
しょうか。私が普段、獣医師とし  
て働く中で牛や豚を診断し、食用  
に適切かどうか判断する仕事があ  
ります。私が生きている状態の家  
畜が健康か病気を診断し、健康  
な家畜は一時間もしないうちに肉  
になってしまいます。この仕事  
するようになってからはスーパー  
でトレーに入った綺麗なお肉を見  
ても牛や豚の生前の姿を意識する  
ようになりましたし、肉料理を食べ  
る時にはルーチンワークではない  
心の入った「いただきます、ごち  
そうさま」の言葉が自然と口から  
出てくるようになりました。それ  
は肉料理が牛や豚の命の代償だと  
意識しているからに他なりません。

命をいただくことへの謝罪の思  
いや感謝の気持ちは具体的に体験

しやすいでしょうが、最初のお念仏  
の話ではどうでしょうか。「煩惱の  
存在を理解し慚愧する気持ち」と「私  
たちを見守ってくださる阿弥陀様の  
存在を歡喜する気持ち」が表裏一体  
として自覚することはとても難しい  
ことだと思えます。だからこそ才市  
さんは「よろこび」と表現したので  
しょう。

日々の生活の中で何がきっかけ  
となり才市さんのような「よろこ  
び」を味わえるのか分からないから  
こそ、ルーチンワークのお念仏では  
意味をなさないことになるのでし  
ょう。

※「慚愧」の詳細は本山だより137号  
のリレー法話をご参照ください

三重二十三組 隨願寺

副住職 松山智慧



御本山御用達

## 鍵長法衣仏具店

京都市下京区油小路正面東入（中央局区内）  
電話 (075) 371-0854・8181~2番  
FAX (075) 344-2701番  
振替口座・0170-3-972番 郵便番号600-8344

創業1586年

## 松井建設株式会社

取締役社長 松井隆弘  
執行役員支店長 野村守宏

本社 東京都中央区新川一丁目17番22号 ☎03-3553-1150  
名古屋支店 名古屋市中区栄五丁目28番12号 ☎052-249-4771



# 報恩講説教一覧表（令和七年一月）

	じんちょう 晨朝 (午前7時)	にっちゅう 日中 (午前10時30分)	たいや 逮夜 (午後2時) 9日のみ (午後12時30分)	しょや 初夜 (午後4時30分)	だいがうどう 大講堂 (12時30分)
9日 (木)			①田中 唯聴 鈴鹿市 欣念寺衆徒 律師 助教	②佐藤 弘道 津市 浄徳寺副住職 中僧都 証義	
10日 (金)	③生桑 崇等 津市 来照寺衆徒 権中僧都 証義	④真置 信海 松阪市 法性寺副住職 権少僧都	⑥水谷 忍英 鈴鹿市 本照寺住職 律師	⑦岡 知道 四日市市 立法寺住職 少僧都 証義	⑤中村 宜成 四日市市 光輪寺住職 権中僧都 証義
11日 (土)	⑧吉尾 真祐 大阪市 大乘寺副住職 律師	⑨戸田 栄信 岡崎市 浄泉寺衆徒 権大僧都 擬講	⑪浦井 宗司 鈴鹿市 深藕寺住職 権大僧都 証義	⑫鷲山 了悟 津市 真楽寺住職 権中僧都	⑩松田 信慶 和歌山市 崇賢寺住職 権大僧都 輔講
12日 (日)	⑬北畠 心淳 鈴鹿市 称名寺副住職 律師	⑭藤浦 弘導 鈴鹿市 浄国寺住職 権中僧都 証義	⑯芳川 賢史 津市 報恩寺住職 中僧都 擬講	⑰藤田 正知 津市 延命寺衆徒 権中僧都 擬講	⑮安藤 純海 岡崎市 蓮珠寺住職 律師
13日 (月・祝)	⑱中川 鳳瑞 津市 妙華寺副住職 権大僧都 擬講	⑳隆 妙灑 四日市市 浄福寺住職 律師	㉒大河戸悟道 豊橋市 正太寺住職 律師	㉓千草 篤昭 津市 善休寺住職 少僧都	㉑花山 光瑞 明和町 迎接寺住職 少僧都
14日 (火)	㉔松谷 慧光 鈴鹿市 中山寺衆徒 大律師	㉖田中 明誠 鈴鹿市 欣念寺住職 権中僧都 証義	㉘藤井 徳雄 鈴鹿市 了性寺住職 中僧都 証義	㉙栗廻 隆興 四日市市 誓覚寺住職 権中僧都 証義	㉗鳥 義厚 大阪市 聖賢寺住職 権中僧都 証義
15日 (水)	㉚栗真 光暁 津市 善行寺副住職 権中僧都 証義	御親教	㉛金森 顕宏 大野市 専福寺住職 権大僧都 証義	㉜戸田 恵信 岡崎市 浄泉寺住職 中僧都 証義	㉝松山 智道 鈴鹿市 随願寺住職 権中僧都 輔講
16日 (木)	㉞上田 英典 四日市市 崇頭寺衆徒 少僧都	㉟鳥 義恵 岡崎市 聖洞寺住職 権大僧都 擬講			㉟安田 真源 京都市 安立寺住職 権中僧都 証義

## 特別講演（如来堂午前9時）

13日 (月・祝)	⑲清水谷正尊 青巖寺住職 大僧都 鑑学
-----------	---------------------------

## 特別講演（如来堂午前9時）

14日 (火)	⑳佐波 真教 明通寺住職 権大僧都 輔講
---------	----------------------------

## 復演（御影堂 御親教後）

15日 (水)	㉑栗原 廣海 誓元寺住職 権中僧都 鑑学
---------	----------------------------

# 2025年お七夜行事予定

報恩講の諸行事および説教は、諸事情により予定している説教師および内容の変更をさせて頂く場合があります。

1月9日 (木)	・高田学苑参拝 ・高田幼稚園参拝 午前中
1月10日 (金)	・責任役員会 受付 11時 御影堂前 役員会 11時45分頃 御影堂
1月11日 (土)	・お七夜婦人連合会 式典 13時 御影堂 逮夜参拝
1月12日 (日)	・お七夜青年会 13時 開会式 講習・逮夜・初夜出勤
1月13日 (月・祝)	・特別講演 講演 9時～10時 如来堂 講師 清水谷正尊 師 ・はたちの集い 受付 13時30分 逮夜参拝 集い 15時 賜春館
1月14日 (火)	・特別講演 講演 9時～10時 如来堂 講師 佐波真教師 ・他山御焼香 10時 御影堂 ・お七夜坊守会 受付 13時30分 逮夜参拝 座談会 15時頃 第1会議室
1月15日 (水)	・御影堂特別拝観 12時30分～13時30分 ・お七夜婦人連合会初夜参拝 16時30分 御影堂 ・白塚念仏講 19時 御影堂
1月16日 (木)	・御参廟 9時

## ののさまをえがこう展

高田派保育園、幼稚園、認定こども園に通う子ども達による、ののさま（阿弥陀さま）を描いたなごやかな仏の世界がひろがります。[場所はお対面所にて]

## 御影堂特別拝観

1月15日(水)・12時30分～13時30分

## 安楽庵「雲幽園」見学

1月9日(木)～16日(木) 10時・13時 (但し、9日は13時のみ 16日は10時のみ)

## お七夜 献書展

1月9日(木)～16日(木)  
大玄関廊下

54回目を数えるお七夜献書展、今年も幼児から大人まで、幅広い世代より献書をいただきました。

## お七夜 布教大会

1月9日(木)～15日(水)  
大講堂にて

## 教団連合「真宗10派報恩講巡り」

1月9日(木)～16日(木)・スタンプラリー (境内テントにて)

# 報恩講ご案内

報恩講をお勤めするのは、お念仏のみ教えをおすすめ下さった宗祖親鸞聖人の遺徳をしのび、ご恩を喜び、報謝させていただくためであります。ご本山の報恩講は宗祖聖人の遷化の日である一月十六日(旧暦十一月二十八日)の御正忌をご縁として務められます。年間の諸法会の中で最も重要で、七昼夜にわたって務められるところから、お七夜の名で親しまれ知られています。

宝物館【燈炬殿】

## 絵伝でたどる『高田のものがたり』展

開館期間：1月9日(木)～2月16日(日)  
休館日：1月20日(月)・1月27日(月)  
2月3日(月)・2月10日(月)



本展では高田派に伝わる三つの象徴的な絵伝を一挙に公開いたします。色彩豊かに描かれた絵伝を通し高田派の軌跡をたどりま。なお、お七夜期間中は親鸞聖人直筆の法宝物を特別に公開いたします。

## 専修寺竹あかり

1月9日(木)～15日(水)

16時30分頃～19時 (閉堂・閉門)  
※9日のみ 17時40分頃点灯式  
※但し 15日のみ 23時30分閉門

今年も、竹あかり作家川瀬皓平氏による竹あかりの世界と、子ども竹あかり約1,000本の美しい光の芸術を展示いたします。手作業で作られた竹は1つとして同じものはなく、また子ども達の塗り絵を通して様々な色彩をまとい輝きます。

■非時 10日から15日 11時から14時まで(食堂にて) 1日限定200食となります。報恩講御懇志のお扱いで、「御非時お七夜共通券」をお渡ししております。必ずその券をご提示下さい。

「燈炬殿だより」

まなざしで深め広める高田の宝

燈炬殿は、真宗高田派が守り伝えてきた親鸞聖人ゆかりの法宝物や学山高田の文化の粋をさらに未来に伝え、広めようと願う檀信徒の皆様の熱意で生まれました。

貴重な法宝物を守る収蔵庫は、新築後数年にわたって「枯らし」を行っています。これは、建材から出るアンモニア、酢酸、蟻酸など、文化財にとって有害なガスを一定基準以下に収めるために庫内の強制的な換気をおこなう作業のことです。

宝物館が出来たのに、なぜすぐに収蔵庫を使わないのかと思われる方もおられるかも知れませんが、慌てては、法宝物を台無しにする恐れがあります。ここは、我慢のしどころです。ただし、枯らしの期間を無為に過ごしているわけではありません。

すでに本山だより135号でお伝えしましたように、法主殿のご下命

により三重県総合博物館に寄託中の法宝物の調査が進んでいます。



学習院大学院生によるお蔵の美術品調査風景

さて、専修寺は門跡寺院でもあります。そのため、皇室や優れた文化人、また時代時代の権力者との交流もありました。実は、このことを跡付ける工芸品を始めとする膨大な文化財が専修寺のお蔵に眠っています。そこで、法嗣殿の御発案により、学習院大学の全面的な協力のもと、昨年からは悉皆調査が始まっています。

います。

これら令和の二大調査では、調査にあたる人達の真剣なまなざしが毎回新たな発見を産み、専修寺の法宝物の持つ意味も深められています。成果の一端は、毎回の特別展でご覧いただいています。調査にあたる人達の熱気がそのまま来館者の皆さんに伝わり、どの展示も大変好評です。

さて、7月21日、専修寺では、東海地区4県の淡交会茶道学校連絡協議会（幼稚園から大学までの学校の

子ども達や学生はもとより、茶道を広めておられる会）の先生方の集まりが開催され、約一八〇名もの方々



安楽庵でのお蔵の茶器展示

子ども達や学生はもとより、茶道を広めておられる会）の先生方の集まりが開催され、約一八〇名もの方々

**ええじゃないか**  
～いい旅いい発見～

毎週月曜日 よる7時  
(毎週土曜日 ひる12時再放送)

TVで見逃し期間中!

ニュース情報番組  
**Mie 7**

毎週(月)～(金)  
夕方5時40分から生放送

三重テレビアプリで  
簡単メッセージ!

三重テレビ放送

石筋

達用御推薦  
山御推薦  
本教会御推薦  
高田山御推薦  
三重山御推薦

石碑  
記念碑  
燈籠

高級御影石専門店

**御影石材株**

(石に御用の方は) イシノコヨネ

☎0120-142540

本店 津市広明町(影見寺門前)  
☎059-224-1700(代)



三重ミュージアムセミナーでの講演

においていただきました。そこで、燈炬殿では、開催準備中の「令和六年度仏教文化講座特別展観 学山高田の文化」をご覧いただきました。また、茶道の専門家の皆さんということで、専修寺の庭園「雲幽園」の茶室「安楽庵」を見学していただきました。

その際、法主殿の御発案で、お蔵で調査中の茶器からより選りすぐりの品を茶室に置き、調査を主導されている学習院教授の荒川正明先生にご解説いただきました。目利きのま

なざしが、茶道の先生方のまなざしを通じて心に響き、感動的な一日となりました。

さて、9月27日、三重県総合学習センターの「三重ミュージアムセミナー」シリーズの一環として、「専修寺の法宝物」というタイトルの講演がありました。燈炬殿学芸員の青

木妙法さんが、燈炬殿の紹介を交えて専修寺のすばらしさを分かり易く伝えました。スクリーンに示される法宝物や文化財を見ながら、聴講された皆さんは大層満足されていました。

法宝物や文化財を極め、伝えようとする関係者の真剣なまなざしが、安楽庵で、またお寺と離れた場所で、普段専修寺とは関わりが無い皆さんの心を揺さぶったのです。この経験を通して、今の時代にも、御仏の教えを深め広める様々な方法はあるはずだよ、と親鸞聖人がお教えくださったように思います。そして、新たな可能性をもっと試すことを

お促しいただいた気がいたします。燈炬殿では、これからも親鸞聖人のお導きで、大切な使命を果たしてゆこうと、関係者一同心を新たにしたいところです。

宝物館燈炬殿館長 大野照文

### ■高田本山講員募集■

高田本山では、本山行事等にお世話いただく講社の講員さんを募集しております。講社とは檀信徒で構成する本山奉仕団体です。真宗のみ教えを学びながら、第2の人生を本山にご奉仕してみませんか。

#### 募集要項・奉仕内容

講社名	奉仕内容
御飯講	毎朝の御仏飯のお世話・お非時のお世話・宿坊のお世話・両堂警備
御廟講	納骨に関するお世話・行列のお世話
賽銭講	両堂のお賽銭の管理・両堂警備
用度講	行列のお世話・お非時のお世話・宿坊のお世話・両堂警備

※高田本山内で当番制のご奉仕となります。  
 ※9:00～15:00（講によって奉仕時間が異なります）  
 ※高田派の寺院に所属する檀信徒に限ります。詳細は下記へ問い合わせ下さい

問い合わせ先 〒514-0114 津市一身田町 2819  
 真宗高田派本山宗務院 ☎(059) 232-4171

人口減少社会へ突入した地域に必要なのは「お寺」だと思う。

対話から生まれる情報発信や  
 プロモーションをサポート！

三重に暮らす・旅するWEBマガジン  
**OTONAMIE**  
 14,500フォロワー突破！  
 mail otonamie@gmail.com  
 tel 059-268-3538 (善印刷工業株式会社)

お寺とともに  
 地域をつくる。

永田文昌堂 最新刊

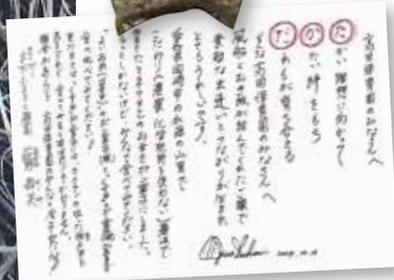
①ラジオ法話 佛説阿彌陀經  
 土岐 慶正著 定価2,750円(税込)  
 極楽の光景や阿彌陀仏の加威力を、広く深く分かりやすく読み解いた好評の「ラジオ法話」を完全収録。「阿彌陀經」を理解する決定版として、初心者の方にもおすすめしたい1冊。  
 京都市下京区花屋町通西洞院西入 ■TEL 075-371-6651 ■FAX 075-351-9031

②光を聞く(続)  
 一どう生き どう死ぬかー  
 松塚 豊茂著 定価2,750円(税込)  
 仏教概念と現実を突き合わせて、宗教一般・哲学的諸問題から信心・家庭・煩惱に至るまで全二十二項目に分類し、後世に残したい言葉を各々独立した短文で収録する。

# こんな行事がありました

## 保育園児にうれしい便り

愛知県岡崎市・岡崎の水源の山里でお米作りをしている「ふるさと創造舎」の荻野嘉美さんから、うれしいお手紙とおいしいポン菓子が届きました。



なんと9月20日の三重仏教保育協会合同参拝のおり、13時過ぎに行われた記念式典の風船上げで、高田本山の境内から園児たちが放った環境にやさしい風船900個のひとつが、同日の16時頃に約80km離れた荻野さんの田んぼで見つけられたというのです。「世界中のみんなが幸せになりますように」と高田保育園の園児が書いた手紙短冊が付いていました。その文面を読んだ、涙が出そうなほどうれしくなられたそうです。

また東向寺という浄土宗のお寺の前の田んぼだったので、不思議なご縁だなあ、浄土宗の宗祖法然上人と親鸞聖人が結んでくださった

ご縁なのかなあと思われたそうです。さっそく高田保育園に電話されたところ、電話の向こうから拍手と歓声とともに「職員室が大盛り上がりで、歓声があがっています。」との声を園長先生からお聞きになったそうです。

荻野さんは旧岡崎市立千万町小学校で教頭先生をしていただきました。平成21年度末をもって学校統廃合されましたが、全校5人の児

## 「専修寺竹あかり」がとどいています

お七夜でお楽しみください

好評のライトアップ「専修寺竹あかり」が、次回のお七夜でも境内で開催される運びとなりました。高田派閥系の幼稚園・保育園などから続々と力作が届いております。一月九日の十七時四十分頃、点灯式が行われる予定です。



## 法会・行事案内

- 修正会 一月一日
- 報恩講 一月九日～十六日
- 責任役員会 一月十日
- お七夜婦人連合会 一月十一日
- はたちの集い 一月十三日
- お七夜坊守会 一月十四日
- お七夜婦人会初夜参詣 一月十五日
- 専修寺竹あかり 一月九日～十五日
- お七夜献書展 一月九日～十六日
- ののさまをえがこう 一月九日～十六日

寺院名

## どこでもつながる国宝彫刻群

高田本山 デジタルブック

検索



<http://www.senjujor.jp/nihonhaku/digitalbook/index.html?pNo=1>